

新時代ニーズに応える第二世代 SUV 用タイヤ
「GEOLANDAR H/T-S」新発売

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は、コンフォート性と耐摩耗性を強化し、さらに省燃費性能などの環境性能を付与したSUV用ハイウェイトレーンタイヤ「GEOLANDAR H/T-S（ジオランダー・エイチティー・エス）」を2007年2月より順次発売する。発売サイズは215/80R15 101S～225/55R18 97Vの全26サイズで価格はオープンプライス。

「GEOLANDAR H/T-S」は、今年発売したSUV用オールテレーンタイヤ「GEOLANDAR A/T-S」同様、“グローバル・スペック”をキーワードに、世界中のあらゆる走行条件に適応するよう徹底的に耐摩耗性、耐偏摩耗性を強化した第二世代「GEOLANDAR」シリーズ。さらに、近年、街乗りを重視するSUVユーザーが求めている優れた快適性と乗り心地、地球温暖化や燃料費の上昇に配慮した省燃費性能の向上など、新時代のさまざまなニーズに応えるタイヤとして開発した。すでに海外各国で先行発売されており、高い評価を得ている。

トレッドパターンには、「深溝4本グループ」「均一剛性ブロック配列」「サイプイングループ」「ラウンドブロック」などを施した新パターンを採用し、さらにコンパウンドとコンストラクションの組み合わせを見直した。これらにより、ウェット性能と耐摩耗・耐偏摩耗性を高次元で両立しながら、柔軟でしなやかな乗り心地と優れた静粛性を実現した。また、走行時に発生するタイヤの歪みを抑制する新開発プロファイルを採用。エネルギーロスを抑えころがり抵抗を低減することで省燃費性能を高めた。この結果、「GEOLANDAR H/T-S」は従来品（GEOLANDAR H/T）に比べ、パターンノイズ、ロードノイズをそれぞれ1.8dB（A）、1.3dB（A）低減したほか、摩耗寿命を7%向上、ころがり抵抗を6%低減、ウェット制動性能を6%向上させた。



SUV用ハイウェイトレーンタイヤ「GEOLANDAR H/T-S」

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IRグループ
〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 3432-8430

「GEOLANDAR H/T-S」の7つの特長



1 深溝4本グループ



トレッド中心部にジグザグ溝を、ショルダー付近にストレート溝をそれぞれ2本ずつ配置。深く幅広い溝が排水効果を高めて、優れたウェット性能と耐ハイドロ性を発揮。

2 均一剛性ブロック配列



センター部からショルダー部まで、各ブロックにおける形状調整や溝・サイプの適正配置により剛性を均一化。荷重負荷を分散することにより偏摩耗を抑制すると同時に、マルチピッチバリエーション配列との組み合わせによりパターンノイズを低減。

3 高剛性センターリブ



周方向に連なるリブをセンター部に採用。トレッド中心付近の剛性を高めることにより、操縦安定性・ハンドリングレスポンスを高め、コーナリングやレーンチェンジをスムーズに。

4 サイピンググループ



内部にサイプを持つ溝を、センターリブとそれに隣接するブロックに採用。幅広のグループ部が排水性を、幅狭のサイプ部がブロック剛性をそれぞれ確保することにより、ウェット性能と操縦安定性を両立。

5 ラウンドブロック



ブロック先端部に面取り加工や丸みのある形状を採用することにより、接地時のブロックエッジの動きを低減。偏摩耗の発生と摩耗後のノイズ悪化の原因をあらかじめ除去。

6 新開発プロファイル

走行時に発生するタイヤの歪みを低減する新開発プロファイルを採用。エネルギー損失を抑えることで転がり抵抗を低減し、省燃費・環境性能を向上。さらに展開幅を広くとり接地形状をスクエアにすることで、十分な耐摩耗性・耐偏摩耗性を確保。

7 コンパウンド & コンストラクション

ウェット性能と耐摩耗性を高レベルで両立させるコンパウンドを採用。柔軟でしなやかな乗心地とロードノイズ低減を追求したコンストラクションとの組み合わせにより、世界中の環境で通用するトータルパフォーマンスを実現。

従来品との性能比較テスト

● 静粛性 (パターンノイズ)



<試験方法>テストコース内 パターンノイズ路走行時の車内音を測定。
<試験条件>テスト場所/横浜ゴムテストコース 周回路、路面/アスファルト、マイク位置/車内中央、速度/60km/h、タイヤサイズ/215/70R16、リムサイズ/16×7JJ、空気圧/200 kPa、車両/トヨタ RAV4、乗車条件/2名、パターンノイズ/GEOLANDAR H/T G038 : 52.2dB (A)、GEOLANDAR H/T-S G051 : 50.4dB (A)。

● 静粛性 (ロードノイズ)



<試験方法>テストコース内 ロードノイズ路走行時の車内音を測定。
<試験条件>テスト場所/横浜ゴムテストコース 周回路、路面/アスファルト、マイク位置/車内中央、速度/50km/h、タイヤサイズ/215/70R16、リムサイズ/16×7JJ、空気圧/200 kPa、車両/トヨタ RAV4、乗車条件/2名、ロードノイズ/GEOLANDAR H/T G038 : 55.0dB (A)、GEOLANDAR H/T-S G051 : 53.7dB (A)。

● 摩耗寿命



<試験方法>舗装路100%、23,542 km走行後の摩耗量から、推定寿命を算出。
<試験条件>タイヤサイズ/265/70R16、リムサイズ/16×7JJ、空気圧/200 kPa、車両/三菱パジェロ、推定摩耗寿命/GEOLANDAR H/T G038 : 71,201 km、GEOLANDAR H/T-S G051 : 76,276 km。
※推定摩耗寿命は社内テストの結果であり、実際の走行では条件により異なります。

● ころがり抵抗



<試験方法>当社室内ドラム抵抗試験機による、ころがり抵抗係数値 (RRC) を測定。
<試験条件>タイヤサイズ/265/70R16、リムサイズ/16×8JJ、空気圧/200kPa、負荷荷重/5 k N、ころがり抵抗/GEOLANDAR H/T G038 : 118、GEOLANDAR H/T-S G051 : 111。

● ウェット制動



<試験方法>第5輪装着によるブレーキ試験。制動距離を各々5回計測し、最大、最小を除いた3回の平均値を算出。
<試験条件>テスト場所/横浜ゴムテストコース、路面/アスファルト、制動速度/100km/h、水深/1mm、タイヤサイズ/265/70R16、リムサイズ/16×7JJ、空気圧/200kPa、車両/三菱パジェロ、ABS有無/有、乗車条件/2名、制動距離/GEOLANDAR H/T G038 : 55.9m、GEOLANDAR H/T-S G051 : 52.5m。

● ドライ制動



<試験方法>第5輪装着によるブレーキ試験。制動距離を各々5回計測し、最大、最小を除いた3回の平均値を算出。
<試験条件>テスト場所/横浜ゴムテストコース、路面/アスファルト、制動速度/100km/h、タイヤサイズ/265/70R16、リムサイズ/16×7JJ、空気圧/200kPa、車両/三菱パジェロ、ABS有無/有、乗車条件/2名、制動距離/GEOLANDAR H/T G038 : 43.6m、GEOLANDAR H/T-S G051 : 43.3m。

※テスト結果に関する詳細なデータは、全てタイヤ公正取引協議会に届けてあります。

発売サイズ

インチ	扁平率 (%)	タイヤサイズ	発売予定月	
18	55	225/55R18 97V	2007年4月	
		235/55R18 99V		
	60	275/60R18 112H		
		285/60R18 116V		
	65	225/65R18 103S		
17	55	215/55R17 94V	2007年4月	
	60	215/60R17 96H		
		225/60R17 99H		
	65	225/65R17 101H	2007年3月	
		★235/65R17 108H	2007年2月	
		265/65R17 112H	2007年4月	
		275/65R17 114H		
16	60	215/60R16 95H	2007年2月	
		235/60R16 100H		
	65	215/65R16 98H		
	70	215/70R16 99H		
		225/70R16 102H		
		245/70R16 107H		2007年3月
		265/70R16 112H		2007年2月
	70	275/70R16 114H		2007年3月
		80		175/80R16 91S
15	70	205/70R15 95H	2007年2月	
		215/70R15 98H	2007年3月	
		265/70R15 110H		
	80	175/80R15 90S	2007年2月	
		215/80R15 101S		

★印はレインフォースド規格。

ご掲載時の読者のお問い合わせ先
 タイヤお客様相談室
 TEL : 0120-667-520 (フリーダイヤル)

このリリースに関するお問い合わせ先
 横浜ゴム(株) 広報部 担当: 入江
 TEL : 03-5400-4531 FAX : 03-3432-8430